【報道資料】

令和 8 年 11 月 19 日　　奈良県生駒市

ならコープ コープいこまで「お試しこども食堂」を開催

こども食堂づくり実践講座の受講生 15 人がこども食堂の運営を体験します

生駒市が主催する「こども食堂づくり実践講座」の受講生がチームになって、11 月 28 日に、ならコープ コープいこまで、こども食堂の運営を体験するお試しこども食堂「俤口食堂　おいで屋（や）」を開催します。



受講生と講師の皆さん

本事業は、こどもが安心して過ごせる居場所を地域に広げるために、こども食堂の担い手を養成する全 5 回の講座で、今回の体験は第 4 回になります。9 月に募集を開始し、定員(15 名)の 2 倍の応募があり、20 代の若者や 30 代の子育て中の人から 70 代までの受講生 15 人が座学での学びを深めてきました。

■お試しこども食堂「俤口食堂　おいで屋」の概要

5 人程度のこども（受付終了）を招待し、受講生が役割を分担しながら限られた予算の中でこども食堂を運営。食事を提供するまでの準備やおもてなしなどを学び、具体的な運営のイメージを深めます。

1　日時　11 月 28 日(土) 9:30～14:00

2　場所　ならコープ コープいこま 1 階いこっぴ広場（俤口町 758-1）

3　当日の流れ（予定）

9:30　講座開始

9:40　準備

11:45 頃

｜　「俤口食堂　おいで屋」開催

13:00 頃

13:10　後片付けと振り返り

14:00　講座終了



※受講生が作成したお試しこども食堂用のチラシ。招待客の募集は終了しています。

■「こども食堂づくり実践講座」開催の背景と特徴・成果

1　背景

市の調査では、こどもの 38%が「家や学校以外で好きな場所、居心地のいい場所がない」と回答。安心して過ごせる場所や、多様な大人とゆるやかにつながる場所の不足が課題となっていることから、地域でこども食堂を運営できる人を増やし、その解決を目指して実施しました。

2　特徴・成果

・本講座は、こども食堂の意義や支援策、実践者の体験談から具体的な活動を学ぶ座学と、こども食堂の運営を実際に体験する実習で構成されています。
・講座終了後も希望する受講生を対象に伴走支援し、こども食堂の立ち上げと活動の継続を後押していきます。
・令和 7 年度の講座では、修了生 10 人が運営する「はばたきみなくる食堂」（北コミュニティセンター ISTA はばたき（上町））と、同修了生 1 人を中心として運営する「あつまる場ィひとむすび」（西松ヶ丘）が、現在も活動を継続しています。

■令和 8 年度のスケジュール（全 5 回）

第 1 回　基礎講座　10 月 10 日㈯10:00～12:30　コミュニティセンター
全国で広がるこども食堂の実例、生駒市のこどもの現状や生駒市で大切にしたい「安心できる居場所」のつくり方を学びます。食堂運営の支援策の紹介もあります。

第 2 回　事例紹介　10 月 31 日㈯10:00～12:30　コミュニティセンター
実際にこども食堂を運営している人のお話を聞き、工夫や楽しさを知ります。質問タイムもあります。

第 3 回　準備　11 月 14 日㈯10:00～12:30　ならコープ　コープいこま
トライアル会場で次回の実践に向けてみんなで話し合いながら、メニューやおもてなしの準備をします。

第 4 回　実践　11 月 28 日㈯9:30～14:00　ならコープ　コープいこま
こどもを招き、食事を振る舞います。場の雰囲気づくりやこどもとの関わり方も体験できます。

第 5 回　計画づくり　12 月 12 日㈯10:00～12:30　コミュニティセンター
前回を振り返るとともに、「もし自分が始めるなら？」を考えながら、地域での活動につなげるアイデアを整理します。

※取材をご希望される場合は、11 月 26 日㈬までに下記お問合せ先にご連絡ください。

この件に関する報道関係からのお問合せ
生駒市子育て健康部こども政策課（課長 古田）　☎0743-73-5611